

きしゅう会計
二ねだけ

かわら版

2022
April
04



「習い事から考える昇給と仕事の関係」

昔、商工会議所の広報誌に掲載されたコラム。
読み直すとよく出来てるやん（地産地消 笑）

娘の幼い頃の話、「できへん！」

と涙を流しながら練習していた。

「できないこと」ができるようになる。「習い事」を続けて上達

することは、「限界を超える成功体験」を積み重ね成長すること。

娘のバイオリンの場合、

ぶんぶんぶんから始まり、アマリリスやメヌエットを経て、10年かけて、チゴイネルワイゼンへ。ロールプレイングゲームのように敵キャラをやっつけると、またそれより手強いキャラが出て来きます。習い事は、グレードに応じてなんとか手の届きそうな課題が用意されています。

時々クライアントの従業員から「給料が全然あがらない」等の不満を聞きます。気の毒と思うこともありますが、そう思わないことも多い。そこで「給料は何故上がるのか」を客観的に考察してみます。一つは「慣れ」でしょう。

入社したての従業員は何をどうすればいいかわからず、与えられたどの仕事も時間が掛かります。慣れてくると当然時間は短縮されます。つまり生産効率が上がるので、昇給となります。

しかし、同じ職場同じポジションで異動がない場合、ある時点でこの成長は通常止まります。

売上が変わらない中で、「同じ仕事」をしている従業員の給料は上がりようがないのです。では反対に大きく上がる要因は何でしょうか？それは会社が従業員に対して「求めるスキルが高くなること」でしょう。

通常昇格すれば会社から求められるスキルはより高くなるはずですが。

習い事でいう「新たな課題」の登場です。ところが、中小企業の場合、スタッフの数も少なく、ランクアップされたポジションがない場合も少なくありません。

つまり習い事のように成長できる仕組みがないのです。でもこれは仕方のないこと。だって習い事は習っている側が

「お客様」なので、至れり尽くせりなのです。

この現状を踏まえて、経営者と従業員のあるべき行動を考えてみます。経営者は魅力のあるポジションを作ってください。そのためには組織

を成長させなければなりません。

そして従業員からは指示まちでなく組織と自分自身の成長を意識してほしい。「同じ職場同じポジションでは成長は止まる」と前述しましたが、これはあくまで「通常」の場合です。できるスタッフは止まりません。仕事に慣れて空いた時間に今まで出来なかった会社のためになる新しい仕事を自分で創造していきます。つまり習い事でいう「新たな課題」を自分で用意していくのです。「できる人」「できない人」の境界のひとつはこの基準だと思います。

今回登場した小さかった

娘も、成長して(?)、

今月結婚式。新たな課題

もあるだろう。クリアし

て幸せにね！

おっと動画がないので、

結婚式がテーマの感動動画

初めて観た時泣いちゃった。

一度ご覧あれ！

「投資と節約」

来年10月から始まる消費税のインボイス制度についてクライアントへの説明を始めています。

この制度一言で言うと、仕入れ代や経費の支払について、支払う相手が免税業者（消費税を国に納付していない事業者）の場合には扱いを変えろという制度なのですが、かなりの混乱が予想されます。

課税事業者が消費税を国に納付する場合、貰った消費税を払った消費税の差額を国に収めているのですが、支払う相手が免税業者の場合、払った消費税を差引できなくなるという法改正なのです。

例えば出張先でタクシーに乗る場合。大手の会社のタクシーならばまず課税事業者なので支払ったタクシー代に含まれる消費税を差引くことができるのですが、免税業者の個人タクシーへの支払いについては、消費税を差引くことができなくなるのです。

つまり使うタクシーによって国に納める消費税の金額が変わってくるのです。したがってタクシーを利用する際に個人タクシーが敬遠されること

が予想される訳です。

納付する消費税の金額が変わる

以上に社会に与える影響は大きそうです。

これだけかわら版の他の話は

こちらのQRコードから！

よもやまかわら版ブログ

<https://plaza.rakuten.co.jp/nakuken>

いつもありがとうございます！ きしゅう会計 名倉



インボイス動画

